

【外国語活動・小4・Unit 8(This is my favorite place)】

育成を目指す資質・能力

本時のねらい：相手に伝わるように、自分のお気に入りの場所について理由とともに紹介することができる。

ICT活用のポイント

同じ中学校区の小学校と「英語交流会」を実施。お互いの学校の自分のお気に入りの場所を英語で紹介する動画の作成等。

事例の概要

【つかむ】

ALT等作成のモデル動画を見て、隣接する小学校との「英語交流会」に向けて、自分の学校のお気に入りの場所を、英語で紹介し合う動画を作成するイメージやアイデアを考える。

【追究する】

学校の様々な場所の言い方や道案内の表現に慣れ親しむ。さらに、自分が紹介したい場所を考え、自分の思いが相手に伝わるような動画を作成するための準備をする。

【まとめる】

相手に伝わるように、自分のお気に入りの場所を紹介する動画を作成する。「英語交流会」で相手の学校の動画を見るとともに、単元全体の振り返りを行う。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 単元で扱う言語材料に慣れ親しむことができるよう、ALTがオリジナルチャンツを作成した。（自校の場所の写真を使用。）
- 児童は端末を活用して、授業だけでなく、休み時間等にも楽しみながら、繰り返しチャンツを見たり一緒に歌ったりして、十分に慣れ親しむことができた。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 教員やALTが、学校のお気に入りの場所を紹介するモデル動画（良くない例も含む）を作成し、分かりやすく提示した。
- 児童は端末を活用して、モデル動画を繰り返し確認しながら、学校のお気に入りの場所を、理由をつけて紹介する動画を作成・修正することができた。

【事例におけるICT活用の場面③】

- 最初に録画した自分や友だちの動画を見ながら、相手に伝わりやすくするためには、どうすれば良いかを児童が考えて、録画を繰り返し、質を高めた。

【事例におけるICT活用の場面④】

- 「英語交流会」で、相手校の紹介動画を見ることで、よさや工夫に気付き、自分の振り返りに生かすとともに、次の学習へとつなげることができた。

【外国語活動・小4・Unit 8 (This is my favorite place.)】

【事例におけるICT活用の場面①】



ALTが作成したオリジナルチャンツで、十分に慣れ親しむことができる。

○自分の学校の場所の写真を使用したチャンツのため、親しみやすく繰り返しチャンツに取り組んだ。

【事例におけるICT活用の場面③】

○最初に録画した自分や友達の動画を見ながら、相手により伝わる動画にするために、どんな工夫ができるかを話し合い、修正することができた。



繰り返し録画できて、すぐに確認し、修正できる。

【事例におけるICT活用の場面②】



活動にリアルな必要感をもたせたり、単元のゴールを確認したりできる。

○分かりやすく、視覚的にモデルを繰り返し確認することができた。

【事例におけるICT活用の場面④】

『英語交流会』

○相手の学校のお気に入りの場所を紹介した動画を見ることで、よさや工夫に気付き、自分の振り返りに生かすとともに、次の学習へとつなげることができた。また、自分たちが慣れ親しんだ表現が使われているため、児童は相手校の動画をよく理解することができた。

ICTを活用することで、相手校とのデータのやりとりもスムーズに行うことができ、手軽に「英語交流会」を開催できる。

【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト（データ提出・受信、一覧表示、画像編集等）